

# 平成24年度 事業計画書

(平成24年4月1日～平成25年3月31日)



学校法人 九州国際大学

(平成24年3月29日 理事会)

# — 目 次 —

<b>I . 基本方針</b> .....	1
<b>II . 平成 24 年度予算概要</b> .....	2
1. 収入の部 .....	2
2. 支出の部 .....	3
<b>III . 事業計画・方針</b>	
<b>[学校法人]</b>	
1. 人事関係 .....	4
2. 施設拡充関係 .....	4
3. 財務関係 .....	5
4. 情報公開 .....	5
<b>[九州国際大学]</b>	
1. 教育概要 .....	6
2. 教育支援 .....	7
3. 学生支援 .....	8
4. 就職支援 .....	9
5. 研修事業 .....	9
6. 地域連携 .....	9
7. 国際交流 .....	10
<b>[九州国際大学付属高等学校]</b>	
1. 教育概要 .....	11
2. クラス編成 .....	12
3. 進路サポート体制 .....	12
<b>[九州国際大学付属中学校]</b>	
1. 教育概要 .....	13
2. 教育活動の特色 .....	13
3. 教科目標 .....	14

## I. 基本方針

近年における少子化等の影響に加え、大学卒業予定者の就職環境においても厳しい状況が続いています。私学を取り巻く環境が刻々と変化していくなかで学校法人の経営環境も大変厳しい状況におかれています。

本法人としては、中期経営計画「平成20年～24年(5ヶ年)」の最終年を迎えるにあたり、既に実行された事業の点検を行うと同時に、未達項目・課題を再精査し、期限と目標を明確にして次期経営計画に継承していきます。今後の経営改善計画の実行にあたっては、財務的な裏づけがあるものとして経営資源の選択と集中を図り、組織の構成員がこれらの情報を共有して法人一体で改革に取り組んでまいります。

### (大学・大学院)

九州国際大学では、建学の精神に掲げる「塾的精神」によって互いに切磋琢磨して精神を鍛え、社会に貢献できる人材の育成に力を注ぎ職業人としての基礎力を支援する取り組みを実施し、大学卒業後に職業人・社会人として自立していけるよう、教育基盤をさらに強化しながら「就業力」・「学士力」を育ててまいります。

本学では、平成22年度末の認証評価(再評価結果)において「保留」から「適合」に認定されたものの、改善事項として『数次にわたって入学定員を下方修正してきたことにより、入学定員(充足率等)の適正化は図られてきたが、学生実数が大幅に減少したことによる学生生徒納付金の減収を補うだけの経費の削減に至っておらず、縮小均衡による財務改善に引き続き努められたい』と指摘されており、次期認証評価に向けて改革に取り組んでまいります。

### (中学校・高等学校)

附属中学校・附属高等学校は、2010年度に高等学校の「共学化」という大きな改革を行ったことで県下トップの志願者を獲得するなど北九州市域の注目を集めています。今後も、教職員・生徒の力を結集し、「独自性のある」「活力のある」学校づくりに一層取り組んでまいります。

高等学校を取り巻く環境においても、少子化に伴う15歳人口の減少により、県内の私立高校への入学者数が漸減しているにもかかわらず、学則で定める入学定員と実際の入学者数との間に乖離を生じていることが喫緊の課題とされていました。このことを受けて、本校の募集力を勘案した上で、平成24年度より附属高等学校の入学定員を720名から640名に改正しました。

### (学校法人)

このように学園全体の定員の見直しを受けて、入学定員の確保を前提とした経営の縮小均衡を当面の目標と位置づけ、縮小均衡に向けた課題を認識すると同時に、これらの改善・改革にあたってまいります。本法人の財務状況は、ここ数年の間、帰属収支差額は支出超過の状況が続いておりますが、この状況下の中でも平成23年度決算においては運転資金の留保(前年対比)が可能となる見込みとなり財務状況の回復傾向がみられます。

平成24年度は、全学的にわたって管理経費を中心として細部を見直して予算編成するとともに、教育用経費においては、部門ごとの企画の精査および費用対効果を考慮しながら、より高い教育サービスを提供できるよう教育・就業支援事業に対する予算配賦の選択と集中を行い一般経費の予算編成を実施しております。施設設備維持管理の対応については、各キャンパスの課題・問題点を認識し、法令対応となる耐震診断や老朽施設の整備等については、資金計画に基づく中期事業計画を作成し事業執行していきます。

## Ⅱ. 平成 24 年度予算概要

平成 24 年度予算編成方針に基づき編成作業を実施した結果、収支構造が若干改善され、キャッシュフローベースで手許資金が減少しない範囲での予算編成が可能となりました。

しかし、消費収支計算書の上では依然として支出超過が続いており、財務数値からみて改善が急務となる項目について改革を断行しなければなりません。特に、支出の構成比率が高水準を示している人件費、奨学費等については、総額(総数)管理方式による制度運用を検討するなど抜本的改革が必要です。これら、支出構造を見直し、教育投資を増額できるよう努めてまいります。

### — 平成 24 年度 学校法人九州国際大学予算 — 消費収支計算書

消費収入の部		消費支出の部	
学生生徒等納付金	2,432,625	人件費	2,371,459
(授業料)	1,755,134	(教員人件費)	1,539,051
(保護者負担軽減額)	△ 27,633	(職員人件費)	595,537
(入学金)	89,940	(役員報酬)	35,868
(実験実習料)	1,000	(退職金)	113,357
(施設設備資金)	80,760	(退職給与引当金繰入額)	87,646
(教育充実費)	533,424	<b>教育研究経費</b>	<b>1,178,336</b>
手数料	77,848	(奨学費)	362,713
補助金	883,244	(減価償却額)	355,104
(国庫補助金)	279,030	(その他の経費)	460,519
(地方公共団体補助金)	603,964	<b>管理経費</b>	<b>412,871</b>
(その他の補助金)	250	(減価償却額)	83,532
資産運用収入	57,050	(その他の経費)	329,339
事業収入	94,208	借入金等利息	8,387
(補助活動収入)	90,808		
(受託事業収入)	3,400		
雑収入	222,238		
帰属収入合計	3,767,213	[予備費]	25,000
基本金組入額合計	△ 83,765	消費支出の部合計	3,996,053
消費収入の部合計	3,683,448	当年度消費支出超過額	312,605

※( )内は、主な科目を内数として表示

#### 1. 収入の部

##### (1) 学生生徒納付金

入学定員確保を重要課題として募集活動に取り組みます。加えて、退学防止のための教育支援に取組み収入減少の抑制に努めます。

##### (2) 補助金収入

平成 24 年度私立大学等経常費補助金(一般補助)については、定員充足率が前年並に維持される見込みであるため、定員割れによる増減率に大幅に影響を及ぼすことはないと思慮します。同補助金(特別補助)については、平成 20 年度に採択された「未来経営戦略推進経費」の中間評価をクリアできたことで、経営改善計画の継続支援を受けることが可能となります。

このほか、大学改革推進等補助金(国庫補助金)の2つの採択プログラムについて、「大学改革推進事業」が3ヶ年の事業が終了したこと、また、「大学生の就業力育成支援事業」が、平成23年度末で事業廃止となったことにより減収となります。

高校・中学部門における福岡県私立学校経常費補助金は、在学生数の増加を見込んでいたため学生割配分額の微増を見込んでおります。

これら、各部門の状況を踏まえ、平成24年度の補助金収入額は過去の受給傾向・消費収入に対する補助金依存率等を考慮して収入計上しています。

### (3) 資産運用収入

平成23年度は、退職給与引当特定資産の概ねを定期預金により運用してきました。減価償却引当特定資産においても安全性を考慮して6割以上を普通預金・定期預金・地方債等により運用しています。これら、特定目的資産の運用については、平成24年度も引き続き銀行預金中心の運用を行い安全性・流動性を重視します。

また、施設設備利用料について、学園のPRを兼ねて広く周知しながら利用促進し、増収に努めていきます。

### (4) 事業収入

受託研究事業では、自治体・企業・研究機関との連携により、国策・地域政策と合致した実践的研究に参画することで学園の存在意義・評価を高めていきます。また、外部資金(学外研究)を獲得し、これらを活用した研究スタイルを推進しながら研究費調達が多様化を促進します。

寮運営事業について、大学学生寮(紅梅寮)は、留学生やサークル学生に限らず、多様な学生を受入れることで稼働率を上げていきます。高等学校生徒寮(橘寮・華橘寮)は、サークル生を中心としてニーズが高まり定員に近い入寮生を確保しています。大幅な支出超過とならないよう所有から利用への思考の転換等をまじえた経費削減に努め、寮生の教育面・生活面をサポートしていきます。

## 2. 支出の部

### (1) 人件費

「現行賞与支給率の維持」「非常勤手当講師経費などの削減」に努め、数値目標内で予算措置を図りました。引き続き、「早期退職制度実施」「諸手当見直し」「賞与支給水準見直し」などの検討を行い人件費の抑制に努めていきます。

### (2) 経費

大学の学生生活支援や募集施策で投じた奨学金が増加傾向にあるものの、管理経費を中心とした経費削減努力が寄与して、平成23年度決算予測と比較して経常経費の予算は微減しました。大学の夜間主コース(FB)廃止や不採算部門を廃止したことにより運営費や施設維持管理費(光熱水費)をはじめとする削減効果が期待されます。これら支出構造については、引き続き、効果検証していきます。

### (3) 施設設備

固定資産取得(建物・構築物・備品)は、大規模修繕や新たな建物・構築物等の建設計画が発生しなかったため、平成23年度決算予測と比較して大幅減となりました。

設備投資については、法令義務(耐震等)・安全確保を優先し事業実施にあたります。その他機器備品・図書の購入については、必要最小限度の投資に留め、計画に基づく資産取得に努め、支出の安定化を図ります。これら事業執行の際は、厳正な予算管理のもと、事業執行にあたります。

### Ⅲ. 事業計画・方針

#### [学校法人]

##### 1. 人事関係

###### (1) 人事考課制度

教職員の資質を向上させるとともに教育機関として最も重要な教育力の向上、ならびに組織の活性化を図る目的で「学校法人九州国際大学行動規範」に基づきトータル人事制度を運用しています。これまでの課題を改善しながら人事考課制度実施要綱(改定版)に基づき運用し、個人調書の提出による基礎データの収集、ならびに目標管理シート・業績報告書の提出により達成度評価を実施しています。

###### (2) 早期退職優遇制度

本学園が雇用する職員の生活設計の多様化に対応するため「学校法人九州国際大学早期退職優遇制度実施内規」に基づき早期退職優遇制度を実施します。平成 24 年度も引き続き、一定の条件を満たす高年齢職員等に対して退職勧奨していきます。退職勧奨を受けようとする職員は、退職手当支給時に基準に応じて退職金支給割合の特別加算適用を受けることができます。

##### 2. 施設拡充関係

###### (1) 機器・備品整備関係

部門	設置場所	件名
平野キャンパス (大学)	平野記念館(練習場)	ブラスバンド部楽器一式
	3号館	プロジェクター(3406教室・3501教室)
	1～3号館	デジタルサイネージ用モニター
	図書館4階	スチール書架増設
	PC教室3	教育支援システム
枝光キャンパス (高等学校)	第一体育館	バレー支柱
	第一体育館	緞帳横幕
	高校棟保健室	自動体重計
	第一グラウンド	ハンドボールゴール
	高校棟	プロジェクター一式
	高校棟	防犯カメラ一式
枝光キャンパス (中学校)	A棟	プロジェクター一式
	職員室	大判インクジェットプリンター
	視聴覚教室	大型デジタルテレビ

###### (2) 施設設備・修繕工事関係

部署	場所	件名
平野キャンパス (大学・法人事務局)	A・B校区	高圧気中開閉器更新工事
	2号館	大教室・中教室マイク更新
	メディアセンター	システムカフェ床貼替および配線張替
	メディアセンター	エレベーターメインロープ取替
	KIUホール	消防設備不良箇所修理工事
	KIUホール	食堂厨房 給湯器更新
	サークルハウス	サークルハウス壁修理工事
	平野校舎全建物	消火器更新
	平野記念館	法人棟 消防設備不具合箇所修繕
枝光校地	高圧気中開閉器更新工事	
枝光校舎	消火器更新工事	

枝光キャンパス (中学・高校)	共用棟	共用棟誘導灯更新
	弓道場	弓道場修理工事
	C棟	C棟 5階厨房 防火シャッター用レリーズ取替
	第一体育館	床研磨修理工事
	D棟	D棟No.1 熱源 気密系分解整備
	B棟・C棟・D棟・E棟	枝光校舎熱源薬注装置修繕
尾倉校地	旧文化交流センター	1階ホール西側ガラスフィルム設置
	旧文化交流センター	消火器更新工事
若松グラウンド	若松グラウンド野球場	プレハブ床貼替工事

### (3) 情報・通信機器整備

#### **【ネットワーク機器および基幹ネットワーク回線更新】**

学術情報系回線から商用系回線の一部導入を含め、出口トラフィックの分散への対応を図ります。学園内の利用頻度・用途を見直し、通信維持コストを削減すると同時に平野と枝光のキャンパス拠点間の回線増強を図ります。あわせて、老朽化した接続機器(LANケーブル・スイッチングハブ等)の更新を行う。

#### **【プリンター機器更新】**

事務系プリンターの更新を契機として、印刷能力・使用頻度を考慮した最適配置計画を作成します。これら計画に基づき、出力機器のメーカー・機種統一化を図り、再配置していくことでランニングコストを削減していきます。

#### **【グループウェアの更新検討】**

現行グループウェアからWeb系のグループウェアの切替えについて、無償版グループウェアのテスト環境を設定して試行的に運用させながら可能性を検討していきます。

## 3. 財務関係

適正な予算執行を促すため予算説明会等を開催し事業着手前の予算措置や規程を遵守した経理手続きに関して啓蒙活動していきます。

一般経費の予算編成に関しては、事業計画の効果予測を検証し根拠に基づく予算積算を行います。建物・構築物・修繕工事・備品等の固定資産取得に関しては、優先度を勘案しつつ中期的な事業計画を立て予算化していきます。

資産運用については、引き続き定期預金等の安全性の高い運用に努めていきます。

また、日本私立学校振興・共済事業団(以下事業団)からの借入金は順調に返済しており、平成24年度の返済額も約定日までに返済します。

これらを総じて、学園の財政安定化に必要な検討課題に対して様々な視点から提言を行ってまいります。

## 4. 情報公開

私立学校法第47条に基づいて条項に則した事業報告書を作成し情報公開を促進します。また、学校教育法施行規則等の一部を改正する省令に基づき教育研究活動等の状況をホームページで積極的に公表していきます。さらに、「学園情報誌:キュウトビ」や「大学要覧」を発刊し、本学園の取り組みや財務情報ならびに学生生活を紹介します。広く情報提供していきます。

## [九州国際大学]

### 1. 教育概要

#### (1) 法学部 / 法律学科

法学部では警察官や行政職員として、地域の発展や安全・安心な社会づくりに貢献したいという学生を受け入れる「リスクマネジメントコース」「資格取得・不動産管理コース」を設置しています。これらのコースは、法学部の学生の多くがめざす公務員や資格取得を、より確実なものにしようと生まれたものです。

本学部には少人数のゼミや課外活動、地域と一緒に課題を解決していく連携活動など、ユニークな教育プログラムがあります。こうした学内外でのさまざまな体験を通して得る知識やコミュニケーション力を育み、業種を限らず、社会へ活躍できる人材として育てていきます。

#### **[リスクマネジメントコース] - 警察官・公務員をめざす -**

警察官、消防士、行政職員に必要な危機管理の考え方と手法を学べます。行政・企業等におけるリスクが増大するなか、将来性の高い分野です。

#### **[資格取得・不動産管理コース] - 就職に有利な資格を取る -**

宅建や行政書士などの国家資格取得や、法律のスペシャリストをめざす人のロースクール進学をバックアップします。

#### (2) 経済学部 / 経済学科・経営学科

多様化する現代社会で「問題発見能力」と「問題解決能力」を発揮できる人材の育成。それが経済学部の教育目標です。そのため国内外のさまざまな経済活動を理解できることや、今の国際化や情報化した社会に沿った幅広い教養と専門的知識、さらに高いコミュニケーション能力を養えるようカリキュラムを工夫しています。

経済学科は将来、企業や地域社会で活躍したい人のための学科です。経済の理論と知識を修得し、世界と地域の経済を見つめる確かな目と、深い教養、豊かな人間性を身につけた人材を育成します。一方、経営管理やマーケティングを学んで、実践的なマネジメント能力や情報・会計のビジネススキルを修得したい人のために、経営学科があります。

#### **[地域づくりコース] - 地元企業・地方公務員を目指す -**

より良い社会づくりに貢献できる人材を育成する。それを地元の特化したのが「地域づくりコース」です。知識の習得だけではなく、実践力を育てることを重視した体験型学習。農村の現状を知るための田植え・稲刈り体験や、地元企業へのインターンシップ、さらには地域再生の歴史や事例、手法を学び、実際にイベントや店舗運営などを通して、地域社会の問題を解決できる力を養います。

#### **[ビジネスアカウンティングコース] - 税理士・会計士を目指す -**

専門的な会計の知識を持ったビジネスパーソンを育てるコースです。15名限定の特別クラスで、4年間会計学担当の教員が徹底指導します。まず目指すのは、日商簿記検定2級の全員合格。さらに1級合格者、税理士や公認会計士をめざしての大学院進学というように、エクステンションセンターと連携しながら知識を蓄積。原価計算や財務管理など専門科目によって応用力を養いながら、4年生では卒業論文に取組みます。こうした一連の学びから、分析結果を明解な文章で表現できる、大卒ならではのプロを育てていきます。

#### **[ビジネスリーダーコース] - 実務体験で生きた経営を学ぶ -**

企業経営に必要な知識とスキルを身につけることを目的としているのが「ビジネスリーダーコース」。家業を継ぐ人や将来、起業を考えている人はもちろん、各部署のリーダーや経営幹部といった企業の中核を担う人材を育成するための、本格的なプログラムを用意しています。地元企業でのインターンシップや、北九州の企業経営者によるリレー講義など、体験しながら生きた経営学を学びます。さらに3年生では、ビジネスゲームやケーススタディの分析・ディスカッションで、発想力や問題解決力を培っていきます。



### **(3) 国際関係学部 / 国際関係学科**

近年では、国境を越えた経済・社会のつながりや日本と諸外国との共生が重要な時代となっています。グローバル化が進む世界の中では、他国の文化や社会を理解し、真の国際感覚を養うことが大切です。国際関係学部はそんな時代と社会の要請に応え、国際教養とグローバルなコミュニケーション能力をそなえ、真に世界で活躍できる人材の育成をめざします。語学力を磨くのはもちろんのこと、相手の国の文化や社会・経済の仕組みを理解するために、豊富な外国人教員の授業や、多彩な海外実習制度など、これまでの学際的教育と外国教育をさらに深めていきます。

#### **【英語コース】 - 使える英語を身につけるための学習支援 -**

国際関係学部の柱のひとつである国際言語運用能力、その中でも「英語」は「世界共通言語」として最も重要な言語です。英語コースは徹底した英語教育を行います。

到達度別クラス編成で、自分の英語力に適したクラスからスタートし、レベルに応じて段階的に学習していきます。

#### **【ハングルコース】 - 韓国語と「韓国」を学ぶ -**

ヒトやモノ、情報の流れが広がり続ける日韓両国ではハングル語を駆使できる人材が求められています。ハングルコースは、楽しさと実践的な講義で、需要が高まる韓国語のスペシャリストを育成します。

#### **【観光ビジネスコース】 - 実践的アプローチの学習 -**

旅行、ホテル、鉄道などの観光ビジネスを中心とするホスピタリティ産業への就職をめざします。ホスピタリティ産業とは、旅行やホテルのみならず、旅客を扱う鉄道やバス、航空、テーマ・パークなども含まれます。このような分野において求められる能力を培うことができるように、実践的・実務的なアプローチを重視するとともに、関連する資格・検定対策に必要な知識を提供できるようにカリキュラムや支援制度を準備しています。

#### **【国際協力コース】 - 協働する技術を学ぶ -**

NGO や NPO、青年海外協力隊や国際関連機関などで将来的に活躍できる人材を育成します。

国際関係学部が力を入れるホスピタリティに根ざしたコミュニケーション能力は、まさに国際協力の取り組みに必要とされるものです。語学はもちろん、グループワークなどの参加・体験型学習を通じて対話を積み重ね、国内外での実践的な「実習」を数多く経験していき、教員と学生が二人三脚で取り組んでいきます。

### **(4) 大学院 / 法学研究科・企業政策研究科**

大学院修士課程は、高度専門職業人の養成を目的としての知識と専門性を高めていきます。

法学研究科では、企業や行政の現場で発生する、さまざまな問題を解決するための法知識の習得を目指します。

企業政策研究科では、経営実務に関する高度な知識、企業を取り巻く外部環境にかかわる専門知識をもつ人材の育成を目指します。

## **2. 教育支援**

### **(1) 入学前教育プログラム**

教育の質的保証を確保するメニューの一つとして、早期に合格した入学予定者に対して「基礎学力」を補う目的で入学前教育プログラムを実施します。専門業者開発の教材を活用して大学側と業者が連携しながら学習の支援をしていきます。本プログラムを受講することで入学までの期間に学習のモチベーションを高め、大学入学後の授業へスムーズに移行していきます。

### **(2) 初年次教育**

入学者の目的意識の低下、学力や職業意識の低下により退学者が増加しています。中教審が定義する「学士力」、経産省が定義する「社会人基礎力」を前提として、教える教育から育てる教育

に取り組んでいます。これら取組みの一環として新入生研修(FM:フレッシュャーズ・ミーティング)、体験学習(PA:プロジェクトアドベンチャー)、学生に応じた目的達成支援(PASS:Project of Achievement Support for Students)を実施していきます。

### **(3) 基礎学力向上プログラム**

本プログラムは1年次の秋学期より開講しており、公務員試験・教員採用試験・民間の就職筆記試験に必要な基礎教育(国語・数学・英語)を行うことで基礎学力レベルを引き上げていきます。受講前に実施される学力診断テストの結果に基づき学力別クラスを編成し、レベルに応じた講義を学期毎に段階を経て実施していきます。

### **(4) 実習科目の推進**

海外での体験的な学習機会を設けるために海外提携校での語学実習、外国事情研修、ボランティア活動等の海外実習科目を開講します。また、国内でのボランティア活動や企業実習等を行う国内実習科目を開講します。

### **(5) スタディスペース(仮称)を活用した教育支援**

これまで、教員が学生の相談に応じる場として「オフィス・アワー」を設け、学生が研究室を訪問する形式で対応してきました。近年、学生の動向や相談内容が多様化するなかで、従来の研究室での対応から脱却し、学生が気軽に立寄り、多種多様な相談が可能な空間「スタディスペース(仮称)」を設置しました。

満足のいく学生生活が送れるよう学習面をはじめ、学生生活全般をバックアップすると同時に、「学生」対「教員」はもちろんこと、対「SA」、対「副担任」など双方向でのコミュニケーションを図る場として運営してまいります。

## **3. 学生支援**

### **(1) 学生奨励制度**

学生の能力向上や精神的な成長を目的として、努力する学生を応援するための奨励制度を設けています。TOEIC受験・ビジネス実務法務検定受検補助等をはじめ、国家資格等の資格取得を果たした学生に対して資格取得する奨励制度があります。

### **(2) エクステンションセンター運営**

公務員受験対策や国家資格を中心とした講座運営を実施します。これらは、リスクマネジメントコース、不動産管理コース、地域づくりコース、観光ビジネスコース等、学部教育のカリキュラムと連動する形式で開講し、就職に直結した資格取得を支援しています。

### **(3) 保護者連絡会の実施**

学生の就学状況や学生生活の実態を把握し、成績不振等を解消するために相談会を実施します。大学側と学生・保護者を交えて質問・相談に応じます。

### **(4) フリースペースの設置**

学生が講義やサークル活動の合間にくつろげる場所として「フリースペース(仮称)」を設置しました。学生の動線を考慮して軽食や喫茶スペースを設けることで、友人とのコミュニケーションを図る場所、待ち合わせの場所など、授業の空き時間を有意義に過ごすことができます。

## 4. 就職支援

### (1) キャリア形成支援プログラム「KIU-SPICE」

KIU-SPICE(Kyushu International University Support Program In Career Education の略称)は、本学の教育理念である「理論と実践両面に明るい人材養成」を具体化する形で、入学年次からの4年間を通じ、社会人基礎力、人間力、就職力を身に付けるための正課授業による「キャリア教育」と、学生に自己理解・発見の機会と知的刺激を与えるための講義、模擬試験、ワークショップ、インターンシップなどにより構成される「キャリアサポート」を統合し、体系化したキャリア形成支援プログラムです。本取組は、学生の多様化が進む中で大学の質的保証を図り、学生の主体的人格形成による学士力の確保を目的に、文部科学省が財政支援を行う「大学教育・学生支援推進事業」の学生支援推進プログラムに採択された事業でもあり、更なる質的拡充を図り継続するものです。

### (2) 卒業延期制度の実施

大学卒業者に占める就職者数の割合が低迷し、依然として厳しい状況です。本学では、卒業延期制度を設けており、卒業の要件を満たしたにもかかわらず就職が決定していない学生の就職活動を支援していきます。

## 5. 研修事業

学校法人九州国際大学職員人事規則に基づき教職員の能力開発及び資質の向上を目的として恒常的に研修等を実施しています。FD(ファカルティディベロップメント)・SD(スタッフディベロップメント)活動の目的は、教職員の職能開発であることはもとより、教育の質的向上にあります。これまでと同様に「学士課程教育の質的保証」「初年次教育」等を中心として各学部・研究科において実施された研修内容を継続的に展開していきます。

また、Semester毎に実施している授業アンケートの分析結果などを踏まえて、FD委員会・教務委員会において対策を講じ授業運営の改善を行っていきます。

さらに、他大学の先進事例について情報を得る、研修会を実施するなどしてFD・SD活動を推進していきます。

## 6. 地域連携

### (1) 大学コンソーシアム関門事業

関門地域の高等教育機関が相互に連携・協力し、関門地域の高等教育の充実及び発展を図るとともに、地域社会へ貢献する目的で参加大学によりオリジナルの講義を提供しています。本学においても、コンソーシアム事業を推進し講義提供等を実施していきます。

### (2) 地域安全パトロール

本学周辺並びに八幡東区周辺にかかる暴走行為や少年非行の抑止、ならびに各種災害の防止活動をはじめとした地域の安全・清掃活動等に貢献し、安全で安心できる「まちづくり」に寄与する目的で地域安全パトロール隊を結成しています。本学職員・学生が警察・地域防犯ボランティアと連携して定期的に防犯パトロールを実施していきます。

### (3) 前田祇園山笠行事への参画

本学が位置する地元地域では、毎年、前田祇園山笠の山笠巡行、競演会をはじめとする祭事がとりおこなわれています。前田祇園山笠の山笠行事は、600年以上の歴史を有し、遠賀川流域圏で古くから展開されてきたと考えられ、北九州市無形民俗文化財に指定されています。本学は、地域に開かれた大学として、教職員および学生が主体となって山笠を保存し、これら行事への参画を通じて地元地域との交流を深めながら地域貢献していきます。

## 7. 国際交流

国際的視野を持った人材を養成するためアジア地域を中心とした諸大学との国際交流を推進しています。海外の諸大学(中国・韓国・台湾・インドネシア)と交流協定を締結し、専攻分野における研究交流や交換留学などを展開しています。

### (主な国際交流事業)

- 交換留学制度……協定校への留学(半年または1年間)
- 認定留学制度……アメリカ、中国、韓国、インドネシアの大学に留学(半年または1年間)
- 海外社会実習……主にアジアの国を訪問先とするスタディツアー
- 海外語学実習……長期休暇を利用した語学留学(アメリカ・オーストラリア)
- ホスピタリティ交換留学・実習留学……国際関係学部「観光ビジネスコース」の留学制度

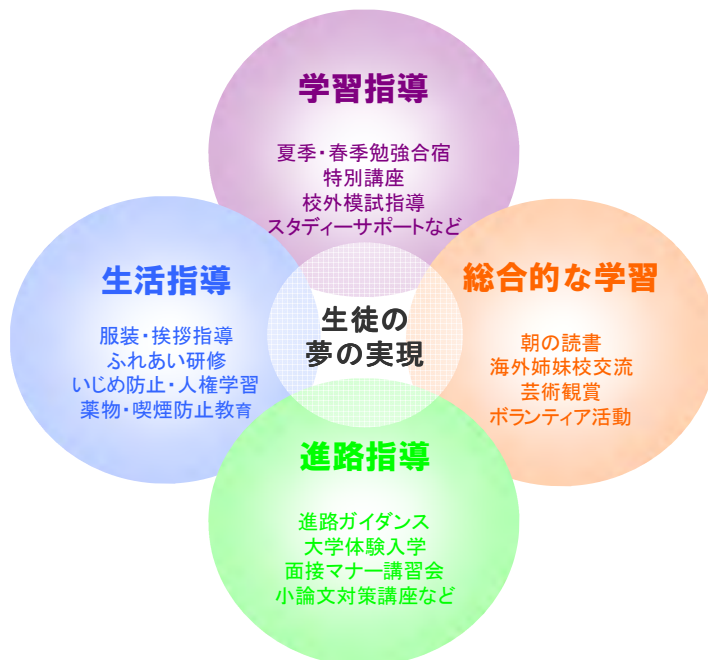
## [九州国際大学付属高等学校]

### 1. 教育概要

男女共学として生まれ変わった付属高等学校。今まで受け継がれてきた伝統と、北九州屈指の進学・スポーツ実績をもつ学校としての誇りを胸に、より質の高い教育を実現します。新生・九国付が掲げるのは、「知・徳・体」のバランスがとれた人間教育です。高校で過ごす3年間は、将来の基盤となる大事な時期です。学力向上はもちろん、心身ともに健全で社会に貢献できる人間性豊かな人材の育成に努めてまいります。

## 九国ライフデザインプログラム

～4つの側面から生徒の夢をサポート～



## 目指す学校像

- 生徒の夢と目標を実現できる進学校
- 文武両道を実現する学校
- 他を思いやる豊かな心を育む学校
- 時代をリードする国際性を育てる学校

### 1. 社会的マナー教育

豊かな人間性を養うには、礼儀作法が不可欠です。明るく元気な挨拶、高校生らしい清潔感のある身だしなみなど、日常の学校生活を通して礼儀作法やマナーをきめ細かく指導し、社会の一員としての自覚を促します。

### 2. 全クラス進学志向

本校では全てのクラスにおいて大学進学を目標に授業を展開しております。生徒一人ひとりの学力や個性を熟知した教師陣が放課後や長期休暇中も全力でサポート。進学意欲をかき立てる土壌が整っています。

### 3. 現役合格へのこだわり

早期から明確な進路目標を掲げ、綿密な学習プログラムを実践。国立大学をはじめ、志望大学に進んだ卒業生の多くが、授業や各種講座など本校の指導のみで着実に学力を伸ばし、過去3年間の現役合格率93%の安定した実績をあげています。



### 4. 「やらされる」から「自らやる」へ

向学心を養うには、強制的に「やらされる」のではなく、「自らやる」意欲を引き出すことが大切です。生徒とのコミュニケーションを大切に、親切的指導でやる気を高め、自発的に学べる環境づくりに努めています。

### 5. 幅広い人間教育

本校の伝統でもある豊かな情操教育と道徳教育を推進。いじめや暴力がなく、安心して楽しく学べる環境を守ります。また、ボランティア活動や国際交流など、地域社会との関わりを通して幅広い視野を養います。

### 6. 個性に合わせた進路指導

生徒一人ひとりの個性や適性を大切に、将来まで見据えた手厚い進路指導を実施。豊富なデータをもとに学級担任・教科担当・進路指導教員が連携してサポート。それぞれの希望に応じて最適な指導を実施していきます。

## 2. クラス編成

クラス	概要
難関クラス	少数精鋭でハイレベルな授業を実践する難関クラス。東京大学、京都大学、九州大学や、歯歯薬系の難関大学への現役合格を目指し、高度かつ綿密な指導を行います。社会常識やマナーも身につけ、確かな学力と豊かな人間性を兼ね備えた人材を育成します。クラブ活動への参加も可能です。
S特進・特進クラス	国公立大学への進学を目標に、現役合格を目指すS特進・特進クラス。2年次からは徹底したコース別教育を取り入れ、生徒一人ひとりの能力を高める指導を実践します。24年連続、国公立大学に100名以上の合格実績をあげている原動力になっています。
準特進・進学クラス	国公立大学や有名私立大学の受験を視野に入れた充実のカリキュラムで、やる気をしっかりサポートする準特進クラス。また、適性に応じて大学進学を中心とした幅広い進路へと導く進学クラス。ともに、クラブ・ボランティア活動も積極的に推進し、個性と才能を伸ばして、さらなる成長を促します。
国際コミュニケーションクラス	生きた語学力を見につけ、多彩な国際交流でグローバルな視野を育む国際コミュニケーションクラス。オーストラリア・中国・韓国の名門姉妹校での海外研修や各国での留学制度も充実。ネイティブの教員も多く、英検対策にも積極的に取り組みながら、大学進学を目指します。
トップアスリートクラス	推薦試験で入学する生徒を対象に2クラスで構成。全国的なスポーツ実績を誇るクラブ活動の充実を図ると共に、他のクラスと同様に大学進学を目指した授業を行います。スポーツと勉学の両方で頑張りたいと考える生徒たちを精一杯バックアップします。

## 3. 進路サポート体制

### (1) 自己マネジメントプログラム「夢橋（ゆめたちばな）」

自己マネジメントプログラム「夢橋」は、先輩たちの足跡に学び、一人ひとりの夢を本気で実現させる「勝利の方程式」のひとつ。1週間単位の生活プランノートで、各々の目標にあわせて「未来の計画」を書き込みます。毎週の総合的な学習の一環として、時間割に組み込まれており、クラス担任の指導のもと、前週の反省点と次週の計画を立てさせ、自主性を育てる細かな指導を実践します。

### (2) 学習・進学サポート

いち早く「目標」を明確にして学ぶ意欲をかき立てるフォロー体制を確立し、土曜日や放課後に加え長期休暇中の特別講座を実施して進学（合格）に向けての準備を万全にしています。

また、各種ガイダンスを実施して勉強方法や受験までの心構え、受験動向などを早期から指導します。

### (3) 入試対策

「小論文・面接対策」「資格取得指導」「予備校講座」「大学特別講義」等を実施することで多様化する大学入試に対応できる体制を整えています。

### (4) データに基づく進路指導

生徒の成績を個別にコンピュータで管理・分析。各々のデータに基づき、数値やグラフと照らしあわせながら目標に向けて具体的な進路指導を展開します。各種データや情報は生徒や保護者に提供。志望大学への指針を明確にして現役合格へと導きます。

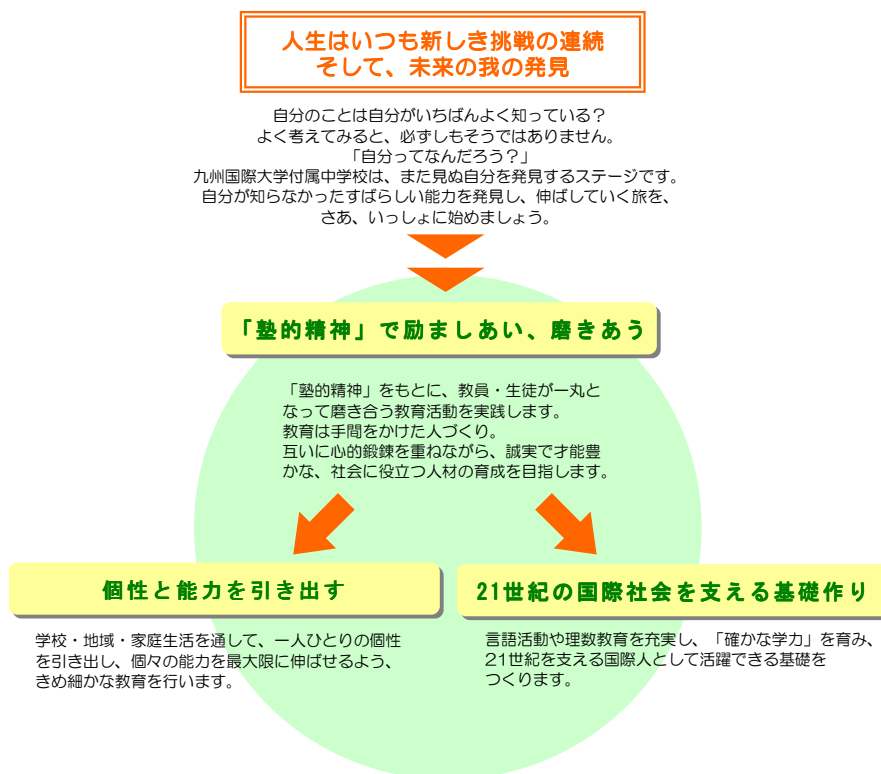
### (5) 放課後・休暇中の学習フォロー

生徒一人ひとりの学習計画を踏まえて、昼休みや放課後、夏休み、冬休みなどの学習を支援します。生徒の習熟度や個性を熟知した教員が手厚く指導し、合格へと導きます。

## [九州国際大学付属中学校]

### 1. 教育概要

中学校では、その教育目標に「知・徳・体の調和のとれた人間教育」「個性や能力に基づいた希望進路の実現」を掲げています。充実した中学校生活を過ごし、たしかな知力と徳力、体力を身につけ、より高い進路の実現を目指します。



### 2. 教育活動の特色

柔らかい心と好奇心に満ちた中学時代に、本校独自の体験型学習活動を通して、高い水準の生きる力を身につけ、友情を育み、多くの感動を味わうことができます。

#### (1) 「知」「情」「意」を刺激する体験学習

充実した宿泊研修	心身の鍛錬・歴史文化に触れる北九ウォーク	みる・きく・しらべる
<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 自然体験教室(1年)</li> <li>■ 古都探訪教室(2年)</li> <li>■ 海外体験教室(3年)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 帆柱連山登山(1年)</li> <li>■ 足立・小文字登山(2年)</li> <li>■ 長崎街道ウォーク(3年)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 救急救命講習(1年)</li> <li>■ 環境体験教室(1・2年)</li> <li>■ 地域に学ぶ体験教室(2年)</li> <li>■ 学術体験教室(3年)</li> </ul>

#### (2) ことばを大切にし、表現する力を身につける学習

ことばを大切にする	英語力を身につける
<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 朝の読書(プラチナ10)</li> <li>■ ころ color 運動</li> <li>■ 学校誌『21』- 勇気の風-</li> <li>■ 体験・学習発表会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 教育ソフト「すらら」を活用した英語力強化</li> <li>■ 外国人教師・大学講師による英会話授業</li> <li>■ 英語使用を意識した授業運営</li> <li>■ 英語スピーチコンテスト</li> <li>■ オーストラリア海外体験教室(3年生)</li> <li>■ 諸外国との国際交流事業</li> </ul>

### 3. 教科目標

磐石の学習体制と豊富な体験学習を軸として、人間形成と豊かな学力、基礎体力の向上を培う教育を行います。生徒一人ひとりの個性や能力を引き出し、希望進路の実現にむけて科目目標を設定し授業運営を行っていきます。

科目	目標
国語	「言葉」に親しみ、「言葉」を身につけ、「言葉」によって豊かな知性や感性、人間性を育みます。また、文章で表現したり、論述したりすることに対して積極的な姿勢を養い、文章読解力を養成します。
数学	数学を学ぶ楽しさ・社会的有用性を感じることが出来る授業を展開し、数学的な見方や考え方を育てます。また、原理や法則の理解を深めるとともに、基礎的な技能を習得するためのドリル学習を充実させます。
社会	地理・歴史・公民の学習を通じて、現代社会における様々な出来事を自ら考え、分析する力・社会を構造的に理解できる力を養います。演習問題も多く取り組み、基本的な知識の定着と応用力の育成を目指します。
理科	自然に対する興味を持たせ、目的意識をもって実験・観察を行い、探求的に調べる能力と態度を育てます。また、グラフ作成やレポート作成、論述などを取り入れ、科学的な思考力や処理能力、論述力を育みます。
英語	英語学習を通して語学力を高めるとともに、自分の意見を相手に伝えたり、相手の考えを理解したりできるようなコミュニケーション能力を身につけます。また、異文化を理解し尊重する態度を養うとともに自国の文化を大切に継承する心を育みます。
音楽	幅広く音楽を演奏したり鑑賞したりすることにより、曲の構成や表現方法を感じ取る力の向上を目指します。また、音楽祭に向けた学級合唱の練習を通し、曲のイメージや各声部の役割を理解するとともに、協調の大切さを養い育てます。
美術	創り出す喜びを味わい、美術を愛好する心を育てるとともに豊かな感性や情操を養います。さらに、表現や鑑賞の幅広い活動を学校行事や生活全般に広げていくことを目指します。
保健体育	心と体には、密接な関係があることを学び、心身を磨き鍛えることによって、協力・共感・公平・公正・克己心・集中力など、何事も耐えうる心と体を育成します。また、健康の保持・増進を目指すとともに、生涯にわたってスポーツに親しむ資質を養います。
技術・家庭	技術分野では、コンピュータについて総合的な知識を身につけ、基本的な情報の処理・伝達ができるようになることを目指します。家庭分野では自立に必要な知識の習得とともに、実習を通して手作りの温かさや大切さを体感し、豊かな生活を営むことのできる実践的な力を養います。
道徳	道徳の時間や教科、特別活動などの全ての教育活動を通して、人間としてよりよく生きることの実現を目指します。生徒と共に考え探求しながら、道徳的価値に基づく人間としての生き方、豊かな心、道徳的実践力などを育てます。
総合的な学習の時間	総合的な学習の時間では、さまざまな体験学習をより一層効果的なものにするために、事前の調べ学習やレポート作成などに取組みます。さらに、1・2年では、体験・学習発表の準備を行い、3年では、校長面接のための自己分析・エントリーシート作成などの時間にも使います。机の上の学習だけでは得られない体験を通して、創造力・思考力・発表力を育みながら「未見の我」の発見に努めます。





発行 / 学校法人 九州国際大学 法人事務局  
〒805-8513 北九州市八幡東区平野二丁目 5-1  
TEL : 093-671-8900 / FAX : 093-671-9032